

KOBEもの忘れネットワーク参加者の輪

登録医療機関・登録者のみなさまのコミュニケーションの場です。
お便りや俳句などの作品、ご意見、ご質問等自由に投稿してください。

この創刊号ではKOBEもの忘れネットワーク事務局スタッフのエッセイをご紹介します。

私の母は83歳。両足の人工股関節置換手術を受けていて歩行が思うようにならないことに加えて、先日自宅で転倒して入院、そして介護老人保健施設でリハビリをしながらの生活となった。その母のために下着を買った。

高齢者向けの洋服や、施設に入所、通所する人に向けた商品を多く取り扱っている洋品店はなかなか繁盛していて、店員さんも若い割に知識が豊富だ。

レースが少しでもついている下着は肌にあたるのでイヤがる人もいたり、靴下はゴムの入っていないものが良いとか説明を受けてなんとか買い物をすませた。

ずっとずっと昔、まだ幼かった私に洋服や下着を選んでくれた母はもう、83歳にもなってしまう今では私が母の下着を選んでいる。

もの忘れのある母はついさっきのできごとをすっかり忘れてしまう。

下着を届けた私に「まあ、どうして私がここにいることがわかったの？」と何度も同じ質問を繰り返す。「だってここに入所する時一緒に来て手続きをしたでしょう」と私は何度も同じ回答を繰り返す。車いすに座った母の背後には窓があり、外には緑がまぶしい公園が広がっているの見える。

子供の頃に家族でよく遊びにきていた公園だ。

小学生の私と妹が走り回っている。

元気な若々しい両親が笑っている。

遠い思い出が写真を見るように一瞬よみがえった。



お問い合わせ、お便り、ご意見、ご質問等をお寄せください。

認知症に関する体験談、臨床研究や治験に参加した方の感想などをお待ちしています。

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町2丁目2番

公益財団法人 先端医療振興財団 先端医療センター内

KOBEもの忘れネットワーク事務局

電話 0120-393-011 (平日9:00~18:00)

FAX 0120-338-086

E-mail jimukyoku@kobe-monowasure.jp

KOBEもの忘れネットワーク通信 創刊号

発行人：KOBEもの忘れネットワーク
兵庫県神戸市港島南町2丁目2番
公益財団法人 先端医療振興財団先端医療センター内
Tel: 0120-393-011
https://kobe-monowasure.jp/

2016年7月発行

KOBEもの忘れネットワークの発足に関して

公益財団法人 先端医療振興財団 先端医療センター病院長 平田 結喜緒



認知症に関する早期発見・予防・治療薬など新しい医療技術の研究開発を推進するみなさまで構成される「KOBEもの忘れネットワーク」が昨年10月に誕生しました。

アルツハイマー型認知症は、病気の臨床症状が全くない発症前か、症状の軽い段階で診断し、早期から治療を開始する先制医療という考え方の対象となる代表的な疾患です。

先端医療センターではアミロイドPETを用いたアルツハイマー型認知症の早期診断法の臨床開発を国内で先駆けて実施してまいりました。

今後も神戸を認知症の診断・治療の開発拠点とするべく研究開発を推進してまいりますので、引き続きみなさま方のご協力で支援をお願いいたします

神戸市が先端医療振興財団、製薬会社と協定を締結 認知症臨床研究を推進

本年3月15日に神戸医療産業都市における認知症にやさしいまちづくり推進のための連携と協力に関する協定が締結され、神戸市と(公財)先端医療振興財団、日本イーライリリー(株)の三者が協力しながら、認知症に関する臨床研究の推進、認知症に対する市民、専門家の理解促進や意識啓発など、認知症にやさしいまちづくりの実現に向けて取り組んでいきます。

三者協力発表の記者会見では先端医療振興財団の理事長より「KOBEもの忘れネットワーク」の設立も報告されました。

また日本イーライリリーの社長は、「神戸を認知症治療のハブにしたい」「平成37年までにアルツハイマー病を予防可能な疾患にしたい」と発表しています。



協定書を持つ本庶佑理事長=左、久元喜造市長=中、右=パトリック・ジョンソン社長、神戸市公開動画より

認知症をテーマにしたフォーラム

『**認知症と共生する社会に向けて**』が開催されます。

本年7月23日(土)神戸市医師会館にて、市民、医療・介護・福祉関係者、企業関係者を対象に「認知症フォーラム」が開催されます。このフォーラムでは、認知症と共生する社会の実現をテーマとし、認知症の人と家族の視点で認知症支援を考えるとともに、企業の参入や新たな産業界との協働について提言します。

ご参加には**7月15日(水)までに(必着)**お申込みが必要です。

詳細は神戸市ホームページ <http://www.city.kobe.lg.jp/> から

「**認知症フォーラム**」と入力して検索してください。



「**あんしんすこやかセンター**」をご存知ですか？

「あんしんすこやかセンター」は「地域包括支援センター」のことで神戸市独自の愛称です。

「あんしんすこやかセンター」では社会福祉士、保健師または看護師、主任ケアマネジャー、地域支え合い推進員などが、高齢者の介護や見守りなどに関する相談にのってくれています。

たとえば、「介護保険を使うにはどうしたら良いの?」とか、「認知症についての相談がしたい」「おれおれ詐欺にあったかも知れない?」などの身近な心配や、他人に相談しにくい介護への不安や悩みを聞いてくれたり、介護予防(高齢者の健康づくり)に取り組みたい場合など、高齢者に関する相談全般を受け付けてくれます。

これからの高齢化社会の強い味方「あんしんすこやかセンター」は昨年12月現在、神戸市内に78カ所あります。

あなたがお住まいの地域の「地域包括支援センター」を気軽に活用してみましょう。



あんしんすこやかセンター

「もの忘れ・・・それはすべて認知症のサインなの？」

思い出せない人の名前、「ほら、あの人、なんという名前だったかしら・・・」。

ものをとりにきたのに何をとりにきたのかとっさに忘れてしまう・・・。

さて、これは深刻なもの忘れの症状なのでしょうか。

日常生活で重要ではないこと、たとえばタレントの名前や昔読んだ本の題名などが思い出せないのは正常な範囲のもの忘れと言えます。でも、仕事の約束や、毎日通っている道で迷ってしまうのは認知症のサインだと考えられます。また経験の一部を忘れるのは正常の範囲ですが、経験全体を忘れてしまうのは、認知症のサインかも知れません。もの忘れをした事に気がつき思い出そうとするのは正常な範囲のもの忘れ、一方もの忘れをしていることに気がつかないで話しのつじつまを合わせようとしたり、怒りだしてしまうのは認知症のサインかも知れません。気になる症状があったら早めに専門医に相談してみましよう。もの忘れの症状の原因を知り、早めの治療や対策を検討することがとても大切です。

KOBEもの忘れネットワークの活動

現在KOBEもの忘れネットワークで行っていること

- 1.登録医療機関のお申し込み受付・・・認知症の患者さんを診ておられる医療機関のご登録をお願いしています。
- 2.もの忘れの患者さんや家族の方へ・・・ご登録をご検討いただく為のネットワークの説明資料をお渡ししています。
- 3.軽度認知障害、認知症の方を対象とした臨床試験や講演会のご紹介をしています。

詳細はKOBEもの忘れネットワークの

ホームページ <https://kobe-monowasure.jp/> を

ご覧いただくか、ネットワーク事務局までお電話ください。

